出エジプト記の結晶の学び（第 2 週）神のしもべの標準的なモデルとして召すことについての全体的な展望

鳥瞰	モーセの事例は、天然の力と能力を拒絶することを説明する最上のものです。彼は神が人を召すことの標準のモデルです。召されることの条件は：自分がいばらであることを「見る」こと；神がどのようなおかたであるかの「啓示」を得ること；神の召しの目標を「知る」こと；サタン、肉、この世の―この三つを「対処」すること；アロンの組み合わせとチッポラの切り取られる「経験」をもつことです。	
1日	❶神は意図的に、また主権をもって、モーセを 四十年間わきに置いたのは何故でしょうか？ ❷天然の雄弁さと復活の中の雄弁さの違いはなにでしょうか？	❶使徒行伝第 7 章 22 節は、モー セはエジプト人のあらゆる知恵をもって教育されて、言にもわざに も力があったと告げています。彼は出て来て神のために働き、神の 民をパロの暴虐から救出しました。モーセは自分自身の意志にしたがって、神の民のために事を行ないました。彼は事 を成し遂げることができるという確信に満ちていましたが、自分の意志を遂行していたのであって、神のみこころを遂行していたので はありませんでした。これが彼が四十年間、荒野においてわきに置かれた原因です。 ❷天然の力と能力は、十字架によって対処されるなら、復活の中にあります。わたしたちが語るとき、わたしたちの雄弁さは十字架によって対処される必要があります。た雄弁で語ります。これが復活の中の雄弁です。もしあなたが十字架によってあなたの雄弁において対処されたことが決してなかったなら、それは神聖なものが何もない天然の雄弁さです。しかし、あなたの雄弁が対処されたなら、そのような雄弁は復活の中にあり、神聖な要素に満ちています
2日	❶モーセはどのような状況に出会ったとき、神が彼に臨むことができるよう資格づけられたのでしょうか？ ❷モーセはが荒野の背面で召された霊的な意味はなにでしょうか？	❶神の主権によってモーセ、王家の宮殿で教育された人が退けられ、荒野で牧者として生活した時、彼は大いに失望し、すべての望み、すなわち彼の自信、彼の前途、彼の興味、彼の目標を失いました。そして神はその時に、彼に現れそして彼を召しました。 ❷これが示すのは、わたしたちが召されることができるのは自分の状況の背面にいるときだけであって、決して前 面にいるときではないことを示します。背面にいることは、わたしたちが現状に満足していないことを意味します。何年間もモーセは羊の群れを荒野の前面で養いました。しかしある日、彼は不足と不満を感じ、背面に行ってそこに何があるか見てみようと決心しました。
3日	❶神に召された人が燃えるいばらやぶのビジョンを見る必要があるのは何故でしょうか？ ❷いばらやぶが燃えていたが、燃え尽きなかったという事実は、わたしたちに何を啓示していますか？	❶神の召される人はみな、自分が いばらやぶにすぎないことを認識しなければならず、彼の内側で火 が燃えており、この火は神ご自身であるということです。神はわたしたちの内側で、またわたしたちの上で燃えることを願われますが、わたしたちを燃やすのではありません。すなわち、彼はわたし たちを燃料として用いないのです。 ❷神の聖の栄光がわたしたちの内側で燃えるべきであって、わたしたちが消耗しきるべきではないことを示します。もし神のしもべが消耗しきってしまうなら、それが意味するのは、彼が自分自身の力を用いて神のために何かを行なっているということです。わたしたちは神の働きや召会 の奉仕に触れるとき、わたしたちは天然の方法で、自分の天然の熱さをもって奉仕しないよう、注意しなければなりません。天然の命のどの熱さも神にとっては異火であり、これは死をもたらします。
4日	❶「エホバの御使い」この称号の意義はなにでしょうか？ ❷「あなたの父の神」という句の霊的な意義はなにでしょうか？	❶「エ ホバの御使い」という称号は、おもに神の御子キリスト、すなわち遣わされて、神の民を彼らの苦難の状況から救う方を指しています。モーセ を召して遣わすために、神、遣わす方は、遣わされた方としてモーセに現れました。遣わされた方だけが、遣わされた者を遣わすことができます。例えば、使徒たち、新約での遣わされた者は、主イエ ス、神の遣された方によって遣わされました。 ❷「あなたの父の神」（出 3:6）という句は、神との歴史を示します。わたしたちは救われたとき、もう一つの系図、霊的な血統を得たのです。神の目に、あなたを召す主はあなたの霊的な父の神です。神がモーセに現れて彼を召したとき、他人でなかったのは、何世代にもわたってモーセの家族と共におられたからです。モーセの父の神は、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神でした。
5日	❶今日のキリストが乳と蜜の流れる良き地であることを説明してください？ ❷召された者は、手がらい病になるしるしを見る必要がありますが、その霊的な意義とはないでしょうか？	❶乳も蜜も、植物の命と動物の命の 組み合わせの産物です。　乳と蜜はキリストの豊富、キリストの命の二つの面から来る豊富 を表徴します。キリストはパースンですが、彼には動物の命で予表 される贖いの命と、植物の命で予表される生み出す命があります。 一方で、キリストはわたしたちを贖う神の小羊です。もう一方で、 彼はわたしたちを供給する大麦のパンです。これらの命は組み合わされて、神の贖われた民の享受となりました。 ❷このしるしは 罪の肉を知るためです。わたしたちはらい病になっているだけでなく、わたしたちがらい病です。キリストは十字架上で 死んだとき、わたしたちの罪を担っただけでなく、わたしたちのために罪とされました。わたしたちが罪であったので、キリストはわたしたちのために罪とされたのです。あらゆる召された者は、自分の肉が罪の肉であり、その中に善 なるものが住んでいないという主観的な認識を持たなければなりません。わたしたちの肉は、罪、腐敗、汚れから構成されています。
6日	❶モーセが男の助け、アロンの組み合わせを必要としたことを どのように経験上に運用しますか？ ❷チッポラが神に用いられてモーセを「血の花婿」とした霊的な深意とは何でしょうか？	❶男の助けは組み 合わせの助けです。このような助けはわたしたちの均衡をとり、わ たしたちを制限し、へりくだらせます。召会生活の中で、わたしたちは あらゆることを自分で行なうべきではありません。そうではなく、 わたしたちは自分ができることを他の人に行なわせるべきです。しかしながら、これは, わたしたちが怠惰であってもよいことを意味 するのではありません。その反対に、それは組み合わされる関係に おいて、わたしたちが制限され、均衡がとられ、へりくだらされることを意味します。 ❷召会生活と結婚生活の両方において、わたしたちはそのような 「血の花婿」である必要があります。進んで切り取られようとする人だけが、神に用いられることがで きます。わたしたちは日ごと 時間ごとにさえ、天然の命の割礼を経験する必要があります。わたしたちの天然の命も、わたしたちの家族の者によって、あるいは召会の兄弟姉妹によって割礼されなければなりません。
まとめ	神がモーセにおいて行なわれたことは、わたしたち召された者においても行なわれます。使徒 7:22 の記載によれば、モーセは言にもわざにも力がありました。また神がモーセを召したとき自分は、口が重く、舌が重いと言いました。前に言われているのは彼が 40 歳の時の天然の能力であり、後で言われているのは、彼が 80 歳の時の復活にある状況を言っています。奉仕において、いばらやぶが燃えていたが、燃え尽きなかったことを見るのは、三一の神がわたしたちの中で燃料となるということを言っています。わたしたちは役にたたないもので人を傷つけるいばらやぶでしかありませんが、神の聖なる火がわたしたちの中で燃え、神ご自身の栄光を現し出す必要があります。	